

1 基本情報

施策名	3 - 1 都市拠点がにぎわうまちづくり					戦略名	拠点創造プロジェクト		
担当	主担当部	環境建設部	主担当課	都市計画課					
	部長名	小林 茂輝	関係課	市民活動支援課	商工振興課	道路課			

2 取組目標(Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市民生活の拠点である駅周辺など、それぞれの特性に合わせた整備を進め、まちのにぎわいをつくります。 ●産業の拠点としての工業団地の機能を充実させ、産業のにぎわいをつくります。
目標実現に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり 市役所・白井駅周辺、西白井駅周辺で、商業施設などの進出を誘導するとともに、各事業者が連携してマルシェなどのイベントを開催するなど、にぎわいづくりを進めます。 ●工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備 工業団地へのアクセス道路の整備を進めます。

3 取組状況(Do①)

H28年度 具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり ・都市マスタープランに定めた土地利用方針等を踏まえ、白井駅周辺から市役所周辺の「中心都市拠点」及び西白井駅周辺の「生活拠点」に、商業施設などのにぎわい施設を誘導するため「用途地域の指定方針及び指定基準」と「市街化調整区域における地区計画の運用基準」を定めた。 ・市民の力を活かしたにぎわい・交流づくりを進めるため、市民パートナー等が中心となって開催する「ときめきマルシェ」に対し、総合相談や物品の貸し出し、開催の周知など、必要な支援を行った。 ・白井、西白井駅周辺を会場としたふるさとまつりの開催について検討した。 ●工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備 ・工業団地及びその周辺から一般国道16号へのアクセス道路を整備するため、用地取得に取り組んだ。 (取得面積328㎡、取得率5%) ・工業専用地域の機能向上と産業のにぎわい創出の一環として「用途地域の指定方針及び指定基準」を定めた。 	
改善意見 取組状況	前年度改善意見	改善意見への取組状況

4 構成事業(Do②)

No	コード	事業名	H28事業費	うち一般財源	評価	改善事項
1	3-1-1-01	中心都市拠点・生活拠点づくり事業	0	0	現状のまま継続	
2	3-1-1-02	マルシェにぎわいづくり支援・協働事業	0	0	改善して継続	マルシェを担う市民団体の自立促進
3	3-1-1-03	フェスティバル開催事業	0	0	改善して継続	各種イベントの開催状況を踏まえて必要性を再検討
4	3-1-2-01	工業団地アクセス道路整備事業	16,264	14,301	改善して継続	整備スケジュールの見直し(供用開始を1年前倒し)
5	3-1-2-02	工業専用地域振興事業	0	0	現状のまま継続	
合計			16,264	14,301		

5 1次評価 (Check①&Action①)

	施策指標名	単位	基準値/基準年度		目標値		実績値			
					H32年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
定量的評価	駅周辺がにぎわっていると思う市民の割合	%	-	-	33.0	16.1				
	白井駅周辺の流動人口 (月平均)	人	44,733	(H27)	46,800	42,633				
	西白井駅周辺の流動人口 (月平均)	人	80,717	(H27)	75,900	69,067				
	工業団地立地事業者数 (協議会加盟社)	社	278	(H27)	278	278				
定性的評価	各拠点のにぎわいづくりには、商業施設等の進出誘導や道路整備などのハード面と、イベントの開催などのソフト面があるが、商業施設の進出誘導を実現するため地区計画の運用基準など策定し、今後の取り組みの基盤を築くとともに、マルシェなどイベントの開催にあたって必要な支援を行い、にぎわいづくりを進めることができた。							進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている	
課題	喫緊の課題 少子高齢化が進む中において、中心都市拠点、生活拠点、産業拠点といった各拠点のにぎわいが生まれ、持続可能なまちづくりを進めることは重要で、特に工業団地の機能を充実させ、産業のにぎわいの創出や雇用の拡大に寄与する施策に取り組む必要がある。				中長期的な課題 各拠点における地域の課題や特性に合わせた整備を進め、にぎわいをつくるためには、地権者をはじめ地域住民の理解と協力が必要である。また、イベントなどの開催にあたっては、市の支援に頼ることなく市民団体や事業者が自ら実施できるように育成していく必要がある。					
施策の方向性 (改善策)	短期的な方向性 工業団地へのアクセス道路の早期整備を進めるため、用地取得に取り組む。 また、工業団地内の企業が中心となって、工業団地内の土地活用のルールを定める地区まちづくり計画の策定支援を行い、良好な操業環境の維持・保全を図る。				中長期的な方向性 都市計画法及び都市計画関連法に基づき、各拠点において商業施設やにぎわい施設の整備・誘導を図るとともに、都市計画法等に基づいた提案型の土地利用のルール作りを推進するため、地区住民等にわかりやすく制度について説明していく。 また、駅周辺等でのイベントの実施にあたり、市民団体等の自立を促していく。					
施策を取り巻く環境の変化	平成25年度に千葉ニュータウン事業が完了し、これまで千葉県やURが行ってきたまちづくり (都市づくり) を、市がこれまで以上に自ら実施していかなければならない。 少子高齢化の進展と人口減少社会の到来において、にぎわいの創出と魅力あるまちづくりを進め、若い世代の移住・定住の促進と産業の活性化などによる持続可能なまちづくりが求められている。									
市民と行政の役割分担・協働	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大 各拠点において商業施設やにぎわい施設の整備・誘導を図るための仕組みづくり及び工業団地アクセス道路の整備は行政が主体となって行うものだが、にぎわいを創出するイベントの開催や提案型の土地利用のルール作りは事業者や地域市民が中心となって取り組むものとする。									

6 2次評価 (Check②&Action②) 白井市行政評価委員会による評価

改善意見等	<ul style="list-style-type: none"> 白井工業団地の活性化に向けて、工業団地アクセス道路の整備を財政状況を勘案しながら、スピード感をもって進めること。 駅前等でのイベントの開催に当たっては、イベントの趣旨について市民等と共通認識を図り、市民等と行政の役割分担を明確にして取り組むこと。 都市拠点における空き店舗の活用、商業施設等の誘致など、駅周辺の具体的な活性化策を検討すること。
-------	---

7 3次評価 (Check③&Action③) 総合計画審議会による評価

改善意見等	
-------	--

8 2次・3次評価における意見等への対応方針

対応方針	
------	--